

新潟県日赤有功会NEWS



創刊号（令和3年3月）

創刊にあたって

皆さまに支えられ、新潟県日赤有功会は令和2年に創立50周年を迎えることができました。ご支援を賜りありがとうございます。これからもなにとぞよろしくお願い申し上げます。

そしてこの度、会報『新潟県日赤有功会NEWS』を創刊いたしました。有功会の活動報告や、会員間の交流につながるニュースを発信してまいりますので、ぜひご覧ください。



有功会50周年記念事業



新型コロナウイルス感染症の流行により、今年度は赤十字の様々な事業が中止や延期となりました。

有功会として毎年支援している、青少年赤十字の事業もやむなく中止。

また、9月に有功会創立50周年の記念講演会を開催予定でしたが、こちらも皆さまの安全を第一に考えた結果、中止とさせていただきます。

記念講演のための予算60万円を、コロナ禍での支援活動や災害救護にあたる日本赤十字社新潟県支部へ寄付いたしました。

皆さまのご寄付は、日本赤十字社のいのちと健康を守るための活動に活用させていただきました。



令和2年7月豪雨災害被災地へ医療チームを派遣し、救護活動



病院での患者受け入れを中心とした新型コロナウイルス感染症への対応

東日本大震災から10年

過去から未来へつなぐ
～私たちの想い～



防災・減災意識向上のための啓発活動として、動画の作成
※支部webサイトよりご覧いただけます。



新潟県日赤有功会NEWS

創刊号（令和3年3月）

令和3年3月31日付けて退任される小林会長のご挨拶

有功会を一言で言い表すのは難しく、自分の中でも「有功会の役割」という難問を抱えながら、会長職を務めてきました。会員の高齢化や事業内容の見直しなど、有功会が抱えている様々な課題を解決していくために、昨年度から事務局と協議し、アンケートの実施で会員とのコミュニケーションを図り、「新しい有功会」への一步を踏み出せたのではないかと考えております。志半ばでの退任となってしまいますが、これからの有功会のますますの発展を願っております。



令和3年4月1日付けて会長に就任される本間副会長のご挨拶

長年、下越の代議員として有功会に関わってきましたが、気が付けば会長という大役を仰せつかり、身に余る思いです。微力ながら、私に与えられた使命は誠実に務めさせていただきます。小林会長と同じく、「有功会の役割」という難題に答えていけるよう取り組んで参りますが、当然私一人の力では成し遂げられませんので、代議員をはじめとした会員の皆様からのご協力、ご理解をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



編集後記

創刊号、いかがだったでしょうか？昨年からのコロナ禍により突然日常生活が変化し、皆さまも様々な葛藤を抱えて生活されてたことと思います。どうか、ご自身をいたわることも忘れずに過ごしていただけたら幸いです。引き続き、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

日本赤十字社も、皆さまのご支援をいただきながら、「いのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすために、日々取り組んで参ります。

ご感想、そして「このような記事が読みたい!」等、ご意見やご要望をお待ちしております。

